

中一 国語科通信

第2号
平成29年6月14日
国語科1年担当
日高・平川・綾間



とうきびの金色のつやの愛おしく
指でひと粒もいで食べたり

「ダイコンすりおろし実験」

中学入学最初の教材は「ダイコンは大きな根？」でした。実はダイコンの白い部分は、胚軸と根という二つの器官に分かれています。上部と下部とでは味が違う、という話でした。そこで、じゃあ食べ比べをしてみよう、ということになったのでした。

六月十二日、一年生全員でいざすりおろし！中には、「十四年間生きてきて初めてダイコンおろしを食べました」という人や、「指をすり下ろしました」という人（笑）、辛さに悶絶したり、ぜんぜん平気だったり……と、様々な反応がありましたね。

結果はいまいち……だったかも知れませんが、これを機に、植物だけでなく、いろんなことに興味を持ってもらえれば……と思います。



みんなのことは

前回は日々のQ&Aからの抜粋でしたが、今回は、中間考査で書いてもらった意見文の中から、各クラス一人数つ抜粋して掲載します。

1組 Yさん

最近、携帯電話を持っている子供が増えていて。特にスマートフォンに関して、そのスマートフォンに関する事件が多数あり、そのせいなのか、スマートフォンを持つことをとても批判する人がいるのは良くないと思う。なぜなら、スマートフォンを持っている子供が必ずSNSなどのインターネット上のコミュニケーションをやっているとは限らないからだ。私もそれを持っているが、連絡する時に使うだけなので、周りもそれをどのように使用しているかをもっと知る必要があると思う。

※正しくない使い方をすればするほど、携帯でも校則でも、規制が厳しくなっていく自由になっていくんですよね。

2組 Yさん

私は、フアンの外国人出身力士に対する差別的な言動に反対だ。言葉も生活習慣も全く違う異国の地にたった一人来て、日本人力士と同じように厳しいこに耐えて強くなったのだから、日本人力士と同様に褒めるべきだと思う。モンゴル出身の力士・白鵬が優勝した時に、場所中のいくつかの勝利が「汚い勝利だ」と日本人から批判された。他にも人種差別的なヤジも飛び出したそう。私は同じ日本人として恥ずかしくなった。応援する人もフエアプリーの精神をもって見てほしいと思う。

※フエアプリーの精神は、スポーツをする人だけでなく、観る人にも必要ですね。学校生活においても、フエアであることは大切です。

この他にも素晴らしい文章がたくさんありました！

3組 H君

人の名前は重要であるという考えには、私も賛成である。日本では、古来より名前には神聖な力が宿っていると考えられてきた。天皇が臣下の名に、吉字を授けたり、逆に醜名を授け人格を貶めたりしたという事例もある。それほど、名前は人格形成において重要な役割を担っていたのである。それを踏まえて考えると、キラキラネームの存在は、名前本来の意味にそぐわないといえるだろう。名前を付けるときは、漢字の音や意味を確かめ、本来の意味で素敵な名前を付けるべきである。

※確かにキラキラネームにはちよつと驚いてしましますが、それでもその子の両親は、やっぱり気持ちを込めてつけたはず。時代の流れとして受け入れることも必要なかもしれませぬ。

コラムマラソン 第二回

「何でもないの中に」

二組担当の日高由里子です。中学校所属の先生の中で、二番目に長く中学校にいます。

ここ十年ほど短歌を詠んでいます。師である志垣澄幸先生は、以前この学校の校長を務められた方で、宮日新聞の「歌の窓」を書いておられる有名な歌人でもいらつしやいます。志垣先生に歌を教えていただけることがどれほど幸せなのかもわからずに始めた短歌ですが、すぐに夢中になりました。

中学二年生の頃、俵万智さんの「自転車のかごからわんとはみ出してなにか嬉しいセロリの葉っぱ」という歌が教科書に掲載されていました。その時は、なんとなくいいなあと思っただけでしたが、やつぱり好きだったんだな、と今になって思います。皆さんも、学んでいる中で「あつ」と思うことが、将来の何かにつながるかもしれません。

以前読んだコラムに「写真は日々のしおりになる」という言葉がありました。私にとっては「短歌は日々のしおりになる」です。私の歌の題材は、身近な人たちとの日常ばかり。私たちの人生って、何でもない毎日の中の、すぐに忘れてしまいたいそうだし忘れても困らないようなものに彩られているのではないかな、と思うのです。